

NUKUMORI

ぬくもり

No.53

2018.11.5発行



大規模地震時医療活動訓練

基本理念

地域医療への貢献
「肌のぬくもりある医療」の実践

基本方針

- 一、救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

肌のぬくもりある医療



宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307
<http://www.utihp.jp/>

CONTENTS

大規模地震時医療活動訓練を行いました	2
ドクターのお話	4
院内感染管理室より	5
心・血管造影室のリニューアルを行いました	6
供養盆踊り	7
リレー・フォー・ライフジャパン大分に参加して	7
糖尿病教室のお知らせ	7
外来担当医師一覧表	8

災害対策本部

災害に関わる全ての情報を集約し、院内のライフライン・建物の評価・外部との調整・院内の医療ニーズの評価などを行い、現在なすべきことや今後の方針を決定する機関です。



大規模地震時 医療活動訓練を 行いました



平成30年8月4日(土)に政府の総合防災訓練大綱に基づく南海トラフ巨大地震を想定した大規模地震時医療活動に関する総合的な実働訓練が県内各地で行われました。

南海トラフとは、四国の南の海底にある深い溝(トラフ)のことです。非常に活発で大規模な地震発生地帯といわれています。大分県は南海トラフ巨大地震にかかる防災対策推進地域・津波避難対策特別強化地域になっており、建物の倒壊、多数傷病者、避難者数14万人以上の被害がでるといわれています。起こっては欲しくない災害ですが、もしもの時の為に県内の医療機関をはじめ関係各所が連携をはかり、大規模地震時の対応訓練を定期的に行っています。

南海トラフ巨大地震が実際に起これば、県内では主に中央から南が被害を受けるといわれています。当院が位置する県北は揺れますが甚大な被害は出ないとされていますので、当院が担う役割は大きなものになります。災害拠点病院である当院は同じく拠点病院である中津市民病院と協力し、県内の医療活動の援助を行います。また、県北の傷病者の対応は県北で行う為、県北の医療機関の連携が重要になります。

今回の訓練は、県北での傷病者の

クロノロジー

災害時に起こった全ての出来事を時系列で掲示します。これを見ながら現在起こっている問題点を抽出し、整理、解決するための具体策を考えていきます。



受け入れ、また当院では対応仕切れない傷病者の搬送訓練を行いました。災害時の医療活動は日常的な医療活動とは異なり、限られた資源で大多数の傷病者に対応しなければなりません。スタッフも不足しているなかで円滑な医療活動を行うためには日頃からの訓練が重要になってきます。今回のような政府主催の大規模な訓練は4年に1度ですが、当院独自、または地域の医療機関や公的機関とも合同で訓練を行い、有事の際でも県北の医療活動が円滑に行えるよう日々努力していきたいと思えます。

医療活動訓練の様子



トリアージポスト

運ばれてきた傷病者の重症度・緊急度を判断し、治療の優先順位を決めます。



緑エリア



軽症治療エリア

歩ける傷病者の治療を行います。



黄エリア



待機的治療エリア

治療は必要ですが比較的時間に余裕のある傷病者の治療を行います。

赤エリア



緊急治療エリア

最も重症傷病者の治療を行います。

ドクターのお話

ポリファーマシーについて



消化器内科部長
石田 健朗

皆さんは「ポリファーマシー」という言葉をご存知でしょうか？

「Poly」＋「Pharmacy」で多くの薬ということになります。国際的には「5ないし6種類以上を日常的に内服している状態」とされています。なぜ5ないし6種類以上なのかというと、副作用のリスクが増加することが疫学研究でわかっているためです。

最近では特に高齢者のポリファーマシーが問題となっています。その理由として、高齢者は複数の疾患に罹っていることが多く、その分、使用する薬の数が増える傾向にあります。

す。また、加齢に伴い消化吸収や代謝機能が衰えるため、薬の効き目が弱い場合や、逆に強すぎてしまう場合があり、若年者よりも副作用のリスクが高まります。

私が当院で経験した興味深い症例があるので2例紹介したいと思います。

① 94歳・男性、基礎疾患に認知症や慢性心不全・2型糖尿病・胸椎圧迫骨折があり、症状としては嘔気・食欲不振ということで紹介となりました。初めて会った時には目を閉じてこちらからの声掛けに対して一言・二言返ってくるといった状態、CT検査では症状の原因となるような明らかな病変を認めませんでした。家族と相談し、年齢



や基礎疾患を考慮して侵襲的な検査は行わずに症状の緩和（すなわち嘔気なくご飯を食べられるようにしたい）を目指すことにしました。

入院当初は11種類の内服薬（糖尿病薬や降圧剤複数、コレステロールを下げる薬や吐き気止め、胃薬・複数の痛み止め・漢方薬etc）があり、食事摂取量としてはやつと3割くらいといった状況でした。内服薬を見直して、本人にとって必要と考えられるものだけとし、11種類↓3種類と数を減らし、内服回数は各食後↓朝食後へとシンプルにしました。その結果、少しずつ活気が出てきてご飯も徐々に

食べるようになって退院できたという症例です。

② 89歳・女性、基礎疾患に慢性心不全がありました。急性胆管炎で入院となり、こちらの処置・治療は無事終了しました。入院当初は8種類の内服薬（複数の降圧剤・コレステロールや尿酸値を下げる薬・胃薬etc）があり、胆管炎の治療が終わった後もなかなか食事摂取が進みませんでした。本人・家族と相談して内服薬の見直しを行い、8種類↓4種類と種類を減らし、気持ちが上向くような薬剤を1種類追加したところ、それまでは介助があってもなかなか食べなかった状態から自発的に食事摂取できるようになったという症例です。



あくまで2例ではありますが内服薬の数・服薬回数を減らしたことによって全身状態の改善が得られた症例でした（基礎疾患によつては絶対に中止できない薬もあります、あしからず）。ポリファーマシーは、単純に処方方を減らせばいいという問題ではなく、処方を行う医師、薬の専門家としての薬剤師が患者さんの情報を共有し、医薬品の適正使用を心がけていくことが必要です。また、患者さん自身においてもかかりつけ医以外を受診する際はお薬手帳を持参する・使用している医薬品について積極的に医療スタッフに相談することがポリファーマシーの解決につながると考えます。

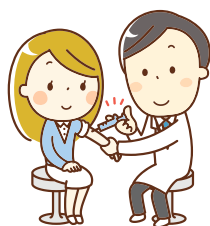
（参考文献）ケーススタディでわかる脱ポリファーマシー 南江堂

風疹が大流行しています!!

現在、風疹が首都圏で流行しています。

国立感染症研究所の感染症発生動向調査（第42週）によると、累積報告数は1486件で昨年の約16倍となっています。大分県での発生は現時点では無いものの、九州では福岡県、宮崎県、熊本県で報告されており、大分県内でいつ発生してもおかしくない状況です。

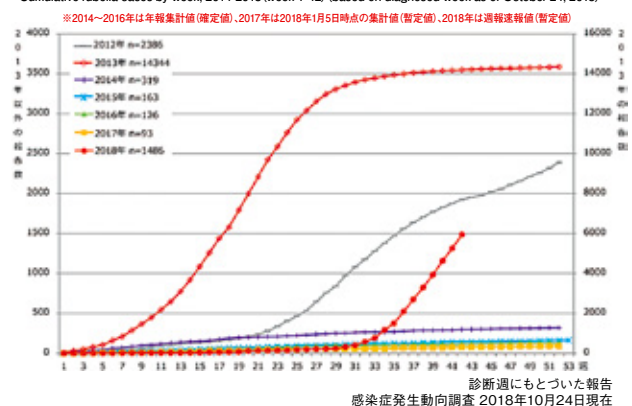
また、今年の風疹患者の内訳は、妊婦の夫にあたる年代の30歳～50歳の方が多いです。これは予防接種制度の変更などで、予防接種を受けていない人が多いためです。風疹で問題となるのは、妊娠初期の妊婦が罹患すると胎児が先天性風疹症候群に罹患してしまう可能性がある事です。すでに妊娠中の方は、風疹ワクチンを接種することができません。抗体の無い妊婦は、人混みへの外出は必要最低限とし、サージカルマスクの着用や手指衛生を励行しましょう。



院内感染管理室より vol.5

国立感染症研究所感染症発生動向調査 (IDWR)

風しん累積報告数の推移 2014～2018年(第1～42週)
Cumulative rubella cases by week, 2014-2018 (week 1-42) (based on diagnosed week as of October 24, 2018)



また、妊娠をこれから考えている女性は、ワクチンを接種し、抗体を獲得しておくことをお勧めします。妊娠可能年齢以外の女性や男性は、ご自身の健康管理と周りにいる妊婦を風疹から守るために抗体検査を実施し、必要であればワクチンの接種をお勧めします。

感染管理室 感染管理認定看護師 是永 香織



心・血管造影室の リニューアルを行いました

当院では平成9年6月より心・血管造影室を稼働させ、狭心症や心筋梗塞、徐脈性不整脈の患者さんを中心にカテーテル治療、ペースメーカー治療を行ってまいりました。使用中の撮影装置は2世代目で既に12年経過している事から、今回、最新鋭の心臓血管撮影装置(島津製作所 Trinias unity C12 smart edition)を導入する事となりました。

最新の画像処理技術を搭載しており、ひばくを低減し、心臓及び下肢血管、ステントを鮮明に表示することが可能で、安全かつ迅速に血管治療を行うことが可能となりました。新鋭機の導入を契機に、より積極的にカテーテル検査および治療に取り組んでいきたいと思ひます。



副院長
陣林 伯男



供養盆踊り

8月18日、検診センター前駐車場にて、例年通り、宇佐高田医師会病院の供養盆踊りを開催致しました。
伏田・日足・宇佐中央地区の皆様には、会場の準備・片付け等のご協力、また、当日の踊りに参加して頂き、有難うございました。

当日はお盆明けと言う事で、多くの施設にて供養盆踊りが開催され、多数の参加が危ぶまれましたが、参加者総数487名と、より多くの方の参加を頂き、19時より受付を行い、19時20分より、西村理事長、柏木院長から、物故者・ご遺族の方々への追悼の意が表され、供養盆踊りが始まりました。地区の皆様が、本年も素晴らしい竹灯籠を設置して下さい、大変幻想的な雰囲気の中、大きな三重の踊りの輪が出来ました。

来年も多数のご参加、ご協力をお願い申し上げますと共に、今回多くのご参加を頂き、大変良い供養を行う事が出来たことを感謝申し上げます。

事務部長 熊谷 嘉典

リレー・フォー・ライフジャパン大分に参加して

9月8日・9日、大分スポーツ公園大芝生広場にて、第11回リレー・フォー・ライフジャパン大分2018が開催されました。

今年は54チーム、当院からも約60名が参加しました。当日、雨というあいにくの天気の中での参加となりましたが、雨にも負けず協力し、たすきをつないでいくことができました。

募金、ルミナリエのメッセージ記入などご協力ありがとうございました。

寄付金が今後のがん研究に役立てられ、患者様、ご家族の苦痛が少しでも軽減されることを願っています。

緩和ケア委員会 看護師 出島 美紀



行事のお知らせ

糖尿病教室のお知らせ

●日時

11月14日(水)・15日(木)

午前9時～

●場所

1階ロビー

11月12日(月)～18日(日)の全国糖尿病週間にあわせ、当院でも管理栄養士が糖尿病の食事療法などの栄養相談を行います。糖尿病だけでなく、食事でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談下さい。



外来担当医師一覧表

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	循 環 器	齋 藤 陣 林	篠 原	齋 藤 陣林(ペースメーカー)	西 水	陣 林	—
	外 科	庄 野	柏 木	蔵 田	江 上	柏 木	—
	消 化 器	石 田	中 島	岡 嶋	中 島	石 田	—
	呼 吸 器	—	望 月	後藤(第2・第4)	望 月	—	—
午 後	循 環 器	—	—	—	近 藤 (心カテ検査)	—	—
	外 科	—	—	(乳腺検査)	—	—	—
	腎 臓 内 科	—	—	—	—	有馬(第1・第3)	—
	血 液 内 科	—	—	—	幸野(第3)	中山(第2・第4)	—

氏 名	専 門 領 域
陣林 伯男	循環器 内科一般
西水 恭平	循環器 内科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
篠原 徹二(非常勤)	循環器 内科一般
齋藤聖多郎(非常勤)	循環器 内科一般
石田 健朗	消化器科一般
岡嶋 智也	消化器科一般
中島 仁典(非常勤)	消化器 肝臓病 内科一般
有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般
中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般
幸野 和洋(非常勤)	血液内科 内科一般

氏 名	専 門 領 域
柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
庄野 正規	消化器外科 外科一般
江上 拓哉	消化器外科 外科一般
蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
望月 淳	呼吸器内科 老年科
後藤 昭彦(非常勤)	呼吸器内科



●外来受付時間

午前8:30～11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)
予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。

※当病院は、原則として紹介状が必要です。

●診療時間

午前9:00～12:00/午後1:00～4:00

●休診日

土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始(12/30～1/3)

●予約受付時間

平日 午後2:00～5:00

編集後記

表紙は8月に行われました大規模地震時医療活動訓練の様子です。

当院は災害拠点病院・大分DMAT指定病院として、宇佐高田地域災害医療の中心的な役割を担っています。

近年の災害・震災状況からも分かりますように、大規模災害はいつどこで発生してもおかしくありません。

今後も定期的な訓練を行い、災害時に適切かつ迅速な対応ができるよう取り組んで参ります。

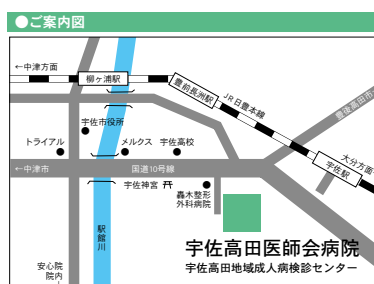
ぬくもり No.53 2018年11月5日発行

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。



- 地域医療支援病院
- (財)日本医療機能評価機構認定
(機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0)
- 第2次救急指定医療機関・災害拠点病院(大分DMAT指定病院)
- 僻地医療拠点病院・大分県HIV診療協力病院
- 第2種感染症指定医療機関(SARS初療機関)
- 大分県重症難病患者医療ネットワーク基幹協力病院
- 協力型臨床研修病院・循環器専門医研修関連施設
- NST稼働施設認定病院
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 肝疾患診療協力医療機関